

六中だより



文責 宮川英樹

今年度の中体連について

六月二十六日(土)・二十七日(日)を中心に、八代中体連総体が行われます。今年度は、感染拡大予防ガイドラインに沿って感染対策を行い実施されます。生徒だけでなく、保護者、指導者等、会場に集まる人たちの健康管理や試合場での感染対策について、御協力をお願いすることになります。よろしく願っています。抽選会は六月十日です。

【現在考えられている
ガイドラインの内容】
(検討中のものも含む)

《大会前まで》

- ・二週間分の体調記録及び提出
- ・当日の来場者体調記録の提出
- ・参加同意書の提出

《大会当日》

- ・試合当日の健康観察の徹底
- ・開始式の簡略化
- ・会議や選手集合、更衣等で距離をとる(できるだけ二メートル・最低一メートル)
- ・握手や肩を組む等の行為禁止
- ・大声でのかけ声や声援の自粛
- ・試合や食事の時以外はマスク着用(熱中症の危険性があるときは除く)
- ・給水用の個別のボトル準備
- ・ベンチ等に消毒液の常備
- ・マイタオルの持参
- ・こまめに手洗い、うがい
- ・試合時間にあわせて来場し、試合後は速やかに帰宅する。
- ・試合後は速やかに帰宅する。
- ・現在の出席停止の基準(家族の風邪症状で出席停止等)により、出場ができなくなる事も考えられます。この感染状況です。対策を万全にしてもそうなる場合があることをご理解下さい。

【試合会場】

軟式野球	県営球場	市民球場
バレーボール	鏡グラウンド	竜北グラウンド
	(男子) 七中	
	(女子) 千丁中	千丁体育館
卓球	東陽スポーツセンター	
ソフトテニス	八代市テニスコート	
バスケットボール	(男女) 竜北中	

※空手、柔道、剣道、バドミントン等、六中の部活動にはない種目を行っている生徒で、中体連に出場したい生徒は、職員に知らせて下さい。

《あ・お・い・く・ま》コロッケさんのインタビューより

熊本出身でものまねタレントであるコロッケさんのお話を紹介します。

母は、女手一つで僕と姉を育ててくれました。ものすごく貧乏でしたが、僕らはいやな思いをしたことがないんです。それは、母が貧乏を笑いに変えてくれたからでした。裏ではつらいこと、泣いたこと、たくさんあったと思います。

そんな母がいつも口ぐせのように言っていた言葉があります。『あ・お・い・く・ま』これは、「あせるな」「おこるな」「いばるな」「くさるな」「まけるな」の五つの言葉の頭文字を並べたものです。

「人生で大切なことは、この五つたい。」

母はそう言い、柱に貼っていました。

ただ、この言葉を本当に理解したのは、「ものまね王座決定戦」で初優勝した時でした。これまで来る日も来る日も優勝目指して頑張ったのに優勝できず、むなしさにおそわれ、落ち込みました。

でも、待てよ・・・とその時思ったんです。この言葉は人に対してでなく自分に対する言葉だったんだと。

その瞬間、目の前の景色がガラッと変わりました。

「自分にあせるな」・「自分におこるな」・「自分にいばるな」・「自分にくさるな」・「自分にまけるな」

この言葉を胸に芸を磨いてきました。

あと1ヶ月で八代中体連総体です。6月13日まで練習試合が中止ですが、県内どの学校も条件は同じです。この「あ・お・い・く・ま」は、試合に臨む生徒たちにも共感できるものであると思います。



日曜日の夜九時から放映されている「ドラゴン桜」を観ています。その中で、主演の阿部寛さん演じる桜木弁護士は台詞には参考になる多くの言葉があります。前回は「教師の役目は、生徒の中に眠っている好奇心を刺激することだ」という言葉がありました。今週、二・三年生を対象に、「教えてJICA海外協力隊」という企画で、トンガで音楽指導をされた熊本市在住の尾上様に、海外在住の尾上様から、海外協力隊に参加するきっかけや現在のお仕事を含め、体験談を話していただきました。好奇心を刺激され、「生き方の一つとして参考になった」という感想を記した生徒もいたようです。

あとがき